

空き家問題の解決に有効

～空き家バンク制度について～

市は人口減少対策の一つとして「空き家バンク」を創設したが、空き家を空き家のままにしないという別の意義もあった。市は、空き家の所有者と不動産業を結び付ける業務のみを行い、空き家対策を所有者と事業者の利益的解決に委ねている点は見逃せない。市は、現在、空き家を認定するため、県指定の専門家に依頼する準備を進めている。わが町も空き家と思われる住宅が少なからず存在しており、空き家バンク制度の導入に向け検討するよう町に提言した。



大阪府河内長野市

岡山県玉野市



地元企業の育成と地域経済活性化を目的に、地元企業優先発注のガイドラインを作成し、事業に取り組んでいた。特に、市内、市外に関わらず、市民の雇用者数を優先契約の条件にしていたことは参考にするべき施策である。また、全ての契約案件は契約課に一本化されているため、市内業者内での偏りを無くすことができていることも特筆する。また、これまで、工事案件については必ず地元業者と共同企業体を組んできたが、その結果、事業者の工事受注ランクが上がったことも見逃せない事実である。したがって、わが町に対しても地元企業優先発注の検討をすべきと提言した。

地元企業との優先契約で

地域経済を活性化

～地元企業優先発注について～

事業拡大や起業に最適な環境を創造

～中小企業サポートセンターについて～

市は地元企業の育成と起業家の輩出を目的にサポートセンターを立ち上げた。センターには、優秀な中小企業診断士を配置し、また、事業拡大や起業に必要な手続きの一切を行うことができる。さらに、市は諸手続などにかかる費用も支出するなど、起業に最適な環境を創造していた。現在、子育て、介護事業のビジネス化を希望する女性の起業相談が増えているとのことで、このセンターの意義が大きいことがうかがえた。わが町にも産業振興に向け、組織改革、財政措置を行うよう提言した。



兵庫県三木市

山口県宇部市



宇部市では子どもたちの健全育成のために、学校・家庭・地域の三者が連携していくことが大切であるとして、全小中学校をコミュニティ・スクール指定校としていた。ここではボランティアによる学習サポート、ゲストティーチャーによる総合学習、放課後子ども教室の実施など、地域の人のつながりや層の広がりや図られていた。地域や保護者の方々の更なる連携や子供たちの郷土への愛着を高めて行く上で、宇部市の取り組みは大いに参考となった。

学校・家庭・地域の

連携を強化

～コミュニティ・スクールについて～

医療費の削減に大きく貢献

～糖尿病性腎症等重症化予防事業について～

呉市ではレセプトデータを丁寧に分析することで、使用薬の内容や重複受診・頻回受診などを把握し、適切な指導によって医療費の適正化に取り組むとともに糖尿病腎症等予防プログラムの対象者を特定し、専門の看護師の個別指導などでステージ悪化を防ぐことに成功していた。更に慢性腎臓病や脳卒中再発予防事業など展開も図られていた。ジェネリック医薬品使用促進も進み成果が出ていた。わが町でも検討すべき取り組みであると考えます。



広島県呉市

広島県安芸高田市



安芸高田市では「お互いさま」精神に基づき、市長が「市民総ヘルパー構想」を提唱し、いかなる財政状況になっても市民の生活が守られる仕組みづくりとして「安心生活創造事業」に乗り出していた。その一環として、実際の現場で使える知識と技能を身に付けることを目的とした「生活・介護サポーター養成講座」が実施され、修了者は登録して地域で活躍する。人が活躍する資源であり、人を活かすことで町を活性化させる。この取り組みは大変参考になった。

ボランティアに

活躍の場を提供

～生活・介護サポーター養成講座について～

委員会視察報告

厚生文教委員会

10月14日～16日

- ◎委員長 ○副委員長
- ◎下野 義子 ○村上 嘉男
- 大坪 国広 ○小山 典男
- 村山 正利 ○吉野 一夫
- 齋藤 成宏
- 成 成

- ◎委員長 ○副委員長
- ◎森 亘 ○古宮 郁夫
- 小川 龍美 ○石川 修
- 山崎 栄 ○高水 永雄(議長)
- 原 近藤
- 隆夫 浩